

水道用減圧弁及び温水機器用逃し弁に関するご協力願い

使用時における故障形態について

日本暖房機器工業会 減圧・逃し弁部会

日頃より減圧・逃し弁部会活動へのご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、一般社団法人日本ボイラ協会殿より、委託事業として平成 17 年度には、「温水ボイラ（0.2MPa を含む）に使用した水道用減圧弁及び温水機器用逃し弁の市場品を回収した経年劣化調査」、平成 18 年度には、「温水ボイラ用減圧弁、逃し弁の市場品経年変化調査」を行いました。その際、給湯機、温水ボイラ及び電気温水器等の製造メーカ各位のご協力をいただき、市場の給湯機及び温水ボイラ等を回収し、温水ボイラ等の缶圧保全を目的としての水道用減圧弁及び温水機器用逃し弁の経年劣化状況についての調査を行いました。

2 年間にわたる調査結果により、「経年するにつれ初期性能が低下する傾向や、経年劣化による特性の変化は見られるものの、温水ボイラ、給湯機及び電気温水器等本体の許容圧力を超えるような状況はなく、缶体保全は維持されている」ことを確認いたしましたところであります。

しかしながら、温水ボイラ等を常に安心して長期にわたり安全を保って使用いただくことが重要です。

故障形態 - 1

温水機器用逃し弁の出口側より常時水が漏れる（減圧弁または逃し弁の故障が考えられます）。

水道用減圧弁：弁棒の固着または弁部の漏れによる減圧不良。

温水機器用逃し弁：ダイヤフラムに異物の付着、ダイヤフラムの経年変化または弁座の損傷による漏れ不良。

ワンポイントアドバイス

使用時、1 回／月は、温水機器用逃し弁の出口側より、常時、水が漏れていないかご確認ください。

故障形態 - 2

お湯が出ない。または、お湯の出が少ない（減圧弁の故障が考えられます）。

水道用減圧弁のストレーナの目詰り、または弁棒固着による流量不足。

ワンポイントアドバイス

取扱説明書の処置方法に従い、ストレーナの清掃を行ってください。

※ストレーナを清掃しても流量不足が改善されない場合は、弁棒の固着等が考えられますので、水道用減圧弁を交換してください。ストレーナは、1～2 回／年は清掃を行ってください。

☆推奨使用期間について

水道用減圧弁、温水機器用逃し弁ともに経年変化による故障のおそれがあります。給湯機器等の缶圧保全を目的として、定期点検の実施とともに、使用期間 5～6 年を目途に交換していただくことをお勧めいたします。

なお、水質や使用頻度などにより 2～3 年で故障する場合もあるため、1 年に 1 回、水道用減圧弁及び温水機器用逃し弁の定期点検の実施をお願いいたします。また、温水機器等を更新される場合も、減圧弁及び逃し弁の交換も同時にお願いいたします。

減圧・逃し弁部会 兼工業(株)、(株)鷺宮製作所、(株)ダンレイ、(株)ベン、(株)ヨシタケ

東京都千代田区神田須田町 2 丁目 23 番地 10 野村第一ビル 〒101-0041 電話 03-6262-9773